

**【参考】
改善工程表の見方**

平成25年度 総合計画 施策の改善工程表シート

| | | | | |
|-----|---|----------------|-----|-------|
| 施策名 | 3 | 子どもを生きやすい環境の整備 | 所管局 | 健康福祉局 |
|-----|---|----------------|-----|-------|

平成24年度実績データ

| 指標No. | 指標名 | 目標値(a) | 実績値(b) | 達成率(b/a又はa/b)% | 評価 |
|----------------------|---------------------------------|--------|--------|--------------------------|----|
| 成果指標1 | 合計特殊出生率[単位:-] | 1.16 | 1.21 | 104.3% | A |
| 成果指標2 | 子どもを生きやすい環境であると感じている市民の割合[単位:%] | 57.0 | 58.1 | 101.9% | A |
| 1次評価 (所管局による自己評価) | | A | | 2次評価 (総合計画審議会による外部評価) | |
| | | | | B | |

改善工程表

| | | | | | |
|----------|--|--|--|--|------------------------|
| 1 | 建議書における総合計画審議会からの意見 | <p>・本施策を推進していくためには、女性のライフステージに応じた子育て環境の充実に向けた総合的な視点から施策を管理する必要があることから、保健衛生分野だけではなく、現在も手掛けている女性の雇用、保育、教育なども含め、横断的な分析とそれに基づく取組・進行管理を強化されたい。</p> <p>・定量指標である「合計特殊出生率」が最終目標まで1.16と低く、そもそもの設定の仕方に課題があるが、一方で、「合計特殊出生率」を伸ばすことについて市事業だけで対応することも無理があることから、市の事業努力の結果が反映されるようなサブ指標の設定を検討されたい。</p> <p>・子どもを欲しいと思う人の増加につながるような指標を設定しないと評価が難しいことから、特に生む側の観点からの検討を進められたい。</p> | | | |
| 2 (1) | 課題の分析 | <p>本施策においては保健衛生分野に加えて、雇用、福祉、教育など横断的な分析とそれに基づく取組・進行管理の強化が必要である。また、指標3は定量指標ではあるが、今日の状況からすると目標値の設定が低く、また、市の取組だけで目標値を達成することは困難な指標であるため、施策を的確に評価できるとは言い難い。</p> | | | |
| 2 (2) | 対応方針 (改善内容) | <p>より総合的な施策の展開を図るため、「子ども・子育て支援新制度」を踏まえ、「子ども・子育て支援に関するアンケート」の分析を行い、関係する部局との連携を一層深め、各種取組の推進及び進行管理の強化を図る。市の取組を評価できるよう「乳幼児の健康状況把握率」を新たにサブ指標として設定するほか、施策を構成する主な事業の取組結果欄に、他の施策の関連する取組結果を再掲する。</p> | | | |
| 2 (3) | 平成26年度当初予算へ反映した内容 | <p>「子ども・子育て支援事業計画」の策定</p> <p>平成25年度当初予算 379,171 千円 平成26年度当初予算 千円</p> | | | |
| 2 (4) | 改善によって見込まれる効果 【対応方針の目的・意図】 | <p>施策の推進に当たり、横断的な分析を行うことで適正な目標設定とその共有が図られ、各部局の役割と互いの連携について明確に認識し、各種取組及び進行管理をより効果的に行うことができる。また、新たにサブ指標を設定するとともに、施策を構成する主な事業へ他の施策の関連する取組を再掲することで、広範囲にわたる本施策について、様々な角度から成果を評価し、改善に繋げることが可能になる。</p> | | | |
| 2 (5) | スケジュール | 第1四半期 【H26.1月～3月】 | 第2四半期 【H26.4月～6月】 | 第3四半期 【H26.7月～9月】 | 第4四半期 【H26.10月～12月】 |
| | | ・アンケート調査の結果分析 ・新たなサブ指標の考え方、目標値等を検討 ・施策を構成する主な事業への、他の施策の関連する取組の再掲を検討 | ・アンケート調査の分析結果等をもとに新たな部門別計画を横断的に検討 ・新たなサブ指標の考え方、目標値等を決定 ・関連する取組の再掲を決定 | ・アンケート調査の分析結果等をもとに新たな部門別計画を横断的に検討 ・改善後のサブ指標及び施策を構成する主な事業により評価等を実施 | 同左 |
| 3 | 2の改善工程表の取組についての事後評価 【2(2)の見込まれる効果と2(3)の取組結果の検証】 | <p>取組結果に対する分析・評価</p> <p>取組結果により得られた具体的な成果</p> | | | |
| 4 | (3に対する)総合計画審議会のモニタリング評価 | | | | |
| 5 | 4(総合計画審議会からの評価)を受けての改善策 | | | | |

改善工程表を作成する原因となった実績データを記載していません(H24実績)。記載事項は、成果指標(サブ指標を含む)の目標値、実績値、達成率及び評価並びに総合評価(1次・2次)の結果です。

建議書における当該施策に係る意見を記載しています。
H25.12月時点

意見を踏まえて、施策推進に当たっての課題を分析したものです。

2(1)の課題解決に向けた具体策を記載しています。

施策全体に係る当初予算額を記載(H26は予算案議決後に記載)しています。

記載した対応方針を実施することにより見込まれる効果を具体的に記載しています。

2(2)の対応方針を四半期ごとの取組として具体化したスケジュールを記載しています。

H26.7月頃に予定している自己評価を行う際に記載します。

H26.9月頃に実施する予定の総合計画審議会によるモニタリング評価の結果を記載します。

4を受けての改善策を記載します(H26.12月頃を想定)。